

健康通信

問合先 市民病院 (☎ 76 - 4131)

こまくせんこう 鼓膜穿孔とは

耳鼻いんこう科 医長 岡崎 由利子

鼓膜穿孔とは、耳の穴の奥にある鼓膜に穴が開くことです。

鼓膜は音の認識に重要な部位です。まず、我々が音を認識するしくみについてお話しします。まず音（空気の振動）が耳介（一般的に耳と呼ばれている部分）で集められ、外耳道を通り、鼓膜に当たって鼓膜が震え、その震えが鼓膜の奥の耳小骨という3つの小さな骨で増幅され、その奥の内耳で電気信号に変わって脳へと伝わります。鼓膜穿孔はこの途中の鼓膜に穴が開き、うまく振動が伝わらなくなった状態です。

では、どのような原因で鼓膜に穴が開くのでしょうか。

◆鼓膜穿孔の原因

・中耳炎などの炎症によるもの

鼓膜よりも内側の空間を鼓室と呼びます。鼓室は耳管という管で鼻や喉の奥とつながっています。鼻や喉に細菌やウイルスの感染が起きると、耳管を経由して中耳炎の発症につながります。悪化すると鼓膜に炎症が起こり、穴が開いてしまうことがあります。

・外傷によるもの

耳かきなどで鼓膜を突き刺してしまったり、耳を平手打ちされたり、ボールが耳に当たって耳の中の気圧が急激に変化したりすると、鼓膜に穴が開きます。また、航空機に搭乗する、スキューバダイビングなどでの気圧の変化も原因となることがあります。

・治療による影響

以前中耳炎の治療で鼓膜切開を受けたり、鼓膜換気チューブを留置していたりした方で穿孔が残ってしまうことがあります。

◆鼓膜穿孔の症状

鼓膜は非常に神経が密に分布しており、血の通っている場所です。そのため、鼓膜に穴が開いた瞬間、激しい耳の痛みを感じ、耳から血が出ることがあります。加えて難聴、耳鳴りが生じることもあります。中耳炎の場合は鼓膜が破れると奥にたまっていた膿が流れ出てくることがあります（耳漏と呼びます）。外傷の衝撃が鼓膜の奥まで影響を及ぼすと、より重度の難聴やめまいを感じることもあります。

◆鼓膜穿孔の治療

鼓膜は再生力が高いため、自然閉鎖も期待できます。ただし、中耳炎などの炎症がみられるときには、抗菌薬の内服や点耳薬などで治療を行います。

数カ月経っても穿孔が残る場合には、手術で閉鎖します。穴が小さい、位置が複雑でないときには、局所麻酔での手術も可能です。数年前までは耳の後ろを切って組織を取り、鼓膜穿孔部に留置する手術が行われていましたが、近年、リティンパという鼓膜穿孔閉鎖治療剤も承認され、耳後部に創を作らなくても治療ができるようになりました。ゼラチンスポンジを穿孔の大きさにカットし、トラフェルミンという血管新生を促進する因子の一つである線維芽細胞成長因子を染み込ませ穿孔部に留置し、接着剤で接着するという方法です。

鼓膜穿孔を何度も繰り返す方や感染のある方はより高度な手術が必要な場合もあります。鼓膜穿孔がある方、難聴や耳鳴のある方は一度耳鼻いんこう科を受診しましょう。



▲病院ホームページ